

東日本大震災復興 10 年事業

論文募集要項

公益社団法人 日本技術士会東北本部

本部長 熊谷 和夫

日本技術士会東北本部では、東日本大震災発生から 10 年にあたる本年をスタートとする、再生と復興、教訓と伝承等をテーマとした『東日本大震災復興 10 年事業』行事の開催を予定しています。

その一環として、会員の皆様から関連する論文を募集します。

論文投稿にあたっては、下記の要領に従い執筆・投稿をお願いします。

【投稿要領】

(趣旨)

東北に甚大な被害をもたらした東日本大震災発生から、本年 3 月で 10 年を迎えました。

被災地の復興にあたっては多くの技術士の皆さんが貢献されたことと思いますが、その活動の記録とそこから得られた思い・知見を記録・保存し、後世に伝えていきたいと思っています。

論文の内容は、被災調査・復旧・復興計画や、工事記録及び今後の防災対策への提言等に関するものとし、(次頁の補足説明を参考にしてください)

(投稿にあたっての留意事項)

① 投稿論文は、個人または会社との共同(業務としての成果)どちらも可能とします。

なお、受注業務で行った内容の論文投稿にあたっては、発注者及び論文投稿者が所属する組織の承諾を得てください。

② 論文投稿者は、(公社)日本技術士会(以下「技術士会」という)の正会員とします。

連名で投稿する場合は、最低 1 名が技術士会の正会員であることとします。

(投稿論文の取り扱い等)

③ 投稿論文は、東北本部において査読の上、記録集に掲載を予定しています。

④ 投稿論文は、令和 3 年度以降 7 年度まで引き続き募集していく予定です。

(執筆詳細)

⑤ Microsoft Word で作成し、図・表・写真等を含め、2 ページまたは 4 ページで納めてください。図・表・写真等は、データファイルを貼り付けてください。

なお、書式は東北本部のホームページからダウンロードしてご使用ください。

⑥ 画像のノイズを除去して鮮明度を保つため、貼り付け画像とは別にオリジナルデータも添付してください。

⑦ 使用フォントは「MS明朝 10.5pt」とします。

A4 版で 1 枚あたり約 23 文字×41 行×2 段(1866 文字)

(締め切り)

令和 3 年 10 月 31 日

(論文投稿及び問い合わせ先) 日本技術士会東北本部事務局 (tohokugijutushi@nifty.com)

※メールのタイトルは「東日本大震災復興 10 年事業論文」としてください

【補足説明】

論文を執筆するにあたって、以下のキーワードを参考にしてください。

1 東日本大震災の発災～10年間(2011～2021)

①震災と復興(近年の熊本地震、土砂災害、豪雨災害も視野に入れて)

②東日本大震災の復旧と復興

- ・まちづくり(高台・嵩上げ)
- ・多重防御施設(防潮堤・河川)
- ・インフラ(高盛土道路・上下水道・廃棄物)
- ・産業(農林水産・工業・商業)

③減災・事前防災

④教訓・伝承、備え

2 東日本大震災復興10年～今後(2021～)

①成熟社会に向かう社会構造

②産業・エネルギー・バックアップ

③災害・復興のタイムライン

④適正な情報の発信・危険エリアでの工夫

⑤防災技術

⑥国土強靱化

⑦気候変動

⑧居住スタイル

⑨防災意識社会

⑩土地利用・根幹インフラ